

## オリンピックと日本～昭和編

犬飼 英明 (P-49178・東京)

1896年のアテネ大会で始まった近代オリンピックに日本が初めて参加したのは1912年(明治45年)のストックホルム大会でした。以来、1世紀以上にわたり、日本は戦争や高度経済成長を経て4度のオリンピック大会を開催してきました。

今回はこうしたオリンピックと日本の関わりの歴史を、主催した大会や日本選手の活躍を中心にまとめた「オリンピックと日本」(JAPEX2019「ベスト・オープン賞」受賞作品)より、昭和時代を抜粋して展示します。

## 4. 東京オリンピック開催



1964年

### 4-5. オリンピック選手村 (1)

オリンピック選手村は代々木の旧米軍住宅跡地に建設され、世界中から集った選手たちが9月19日から11月5日までの期間内に滞在した。村内には期間中、東京オリンピック村郵便局が開設されて、郵便業務が実施された。  
1964・9・15 開村・開局初日印付きカバー



1963・10・18 オリンピック村～西ドイツ 書留航空便(書留ラベルは青いゴム印で局名表示された。)



## 2. 幻の東京・札幌オリンピック



1937年～1938年

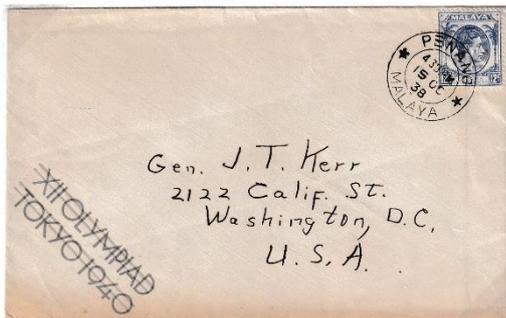
### 2-3. 大会返上の軌跡 (2)

日本郵船(N.Y.K)の1940オリンピック文字入り封筒は絵葉書同様に自社所有客船の客室内に備えられて使用されたが、1938年7月の大会返上後にも記念文字を二本線で抹消して配布が継続されたので、返上後の使用例が残されている。

大会返上前封筒 1937・6・9 神戸～アメリカ航



大会返上後封筒 1938・10・15 ベナン～アメリカ航



## 2. 幻の東京・札幌オリンピック



1937年

### 2-2. 幻の冬季オリンピック (1)

冬季五輪は夏季五輪開催国が同年に国内開催するのが慣例で、東京五輪開催が決定した1938年7月のIOCベルリン総会では札幌が立候補したものの、準備不足等で棚上げとなった。翌年7月のワルシャワ総会で仮決定し翌年3月のライプツィヒ総会で正式に開催決定されたが、僅か4か月後には日中戦争激化によって返上され、幻の冬季五輪となった。



大会公式シール  
ドイツベルリン五輪組織委員会関係者の助言を受けて、ごく少数の合作された公式シール。現存数十枚とされている。

1937年(昭和12年)の年賀状(正式決定前のため開催候補地と表記)



札幌市内旅館の記念スタンプ

札幌の宿泊施設や百貨店などで同様の記念スタンプが使用された。